

# 回復基調と警戒のターニングポイント

～令和2年11月 データから見た業界の動き～

## ■ 概 況

11月の山梨県内のD.I値は、業種全体で売上高は▲40ポイント（前年に比べ▲32）、収益状況は▲40ポイント（前年に比べ▲36）、景況感は▲40ポイント（前年に比べ▲20）で全ての項目で前年同月よりも悪化している。

業種別では、製造業は売上高▲50（前年に比べ▲40）、収益状況▲60（前年に比べ▲40）、景況感▲55（前年に比べ▲25）となった。

地場産業の一つである織物製品製造業においてはオーダースーツの需要減により裏地の製造は前年同期と比べて2割ほどしか稼働していない状況。また、カーテンをはじめインテリア製品の大きな需要先であるホテル・旅館からの需要も減少しており、売上げは対前年比▲50%となっている。新たな取引先の開拓が喫緊の課題と報告された。鉄鋼・金属製品、業務用機械器具、生産用機械などの製造業においても、売上げは前年同期比で▲20%～▲30%との報告が続いている。半導体や自動車関連では生産の回復に合わせて多少の動きは出てきたものの、航空部品や一般医療関係機器の受注は回復の見通しが立たず、先行きを懸念する声が多い状況である。

非製造業は、売上高▲33（前年に比べ▲26）、収益状況は▲27（前年に比べ▲34）、景況感▲30（前年に比べ▲17）となった。

製造業と同様に前年同月よりも状況が悪化している報告が多くなっているが、政府によるGoTo関連事業の推進によってマイナスの幅は徐々に少なくなり、食肉小売、電気機械器具小売、商店街、宿泊業等から回復を実感する報告も出てきた。しかし11月後半からは第三波とされるコロナウイルス感染者が増加傾向にあり、イベント事と縮小、延期または中止等が予想されていることから予断を許さない状況といえる。

建設や建築等に関連する業界においては、これまで使用する製品または原材料の調達難との影響はあったものの経営への大きなダメージは免れていた。しかし新型コロナウイルス感染症の終息時期が見通せない状況の中では今後予定されていた工事の縮小や発注控えが予想され、今からが正念場と考える事業者が多い、中央会では足下の景気変化に特に注意し必要な情報提供を行うこととしている。

## ■ 業界からのコメント （業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照）

### ● 製 造 業

食料品 (水産物加工業)	水産物加工業では、ギフト・おせちの材料は前年同月と同等の売上げが確保出来たが、ホテル・レストラン向けの業務用の売上げは振るわなかった、売上げは前年同月よりも▲10%程減少した。
-----------------	--

<p>食料品 (洋菓子製造業)</p>	<p>菓子製造業では、一部組合員企業のテレビ放映や巣ごもり需要の好影響により売り上げは前年同月と比較すると130%となった。</p>
<p>食料品 (酒類製造業)</p>	<p>11月はGoToトラベルキャンペーンの効果により観光客などのワイナリーへの来店が増加したが、売り上げは前年同月よりも減少した。山梨県内でも感染が拡大してきているため、組合の理事会等の会議は中止している。</p>
<p>繊維・同製品 (織物)</p>	<p>全体の売り上げは前年同月よりも▲50%となった。オーダースーツの需要が低迷しているため裏地の売り上げが減少し稼働率2割程度となり、今後の見通しもつかない状況である。ネクタイは、コロナ禍で対面販売が難しいため、オンライン販売を活用している。インテリアは、ホテル・旅館での売り上げが減少。傘地の売り上げは悪いながらも11月の売り上げは多少の回復傾向となった。今後は既存の発注先以外からも注文が来るよう、新規取引先の開拓を行っていききたい。</p>
<p>繊維・同製品 (織物)</p>	<p>11月は東京国際フォーラムで開催されたバイヤー向け展示商談会のJFWジャパン・クリエーション2021に出展を行った。多数の来場者があったため、今後の商談が増え取り引きが活性化していくことを期待している。</p>
<p>木材・木製品製造</p>	<p>コロナの影響で戸建て住宅（木造）の着工数が例年より減ったという影響は無いが、コロナが落ち着かない状況が続いているので、給与所得者の収入も不安定となり今後の影響を懸念。現在は仕事量は多く休日が取れない程の受注があるが、価格の安定していた米材がアメリカ国内での需要増・山火事・コロナウイルス等、諸々の影響から調達が難しくなっており、原材料は価格上昇傾向にある。</p>
<p>印刷・同関連業</p>	<p>コロナウイルス第3波の影響によってイベントやセミナーがさらに減少している。印刷物の発注が減少し、前年同月と比較すると▲15%の売り上げとなっている。</p>
<p>窯業・土石 (砂利)</p>	<p>11月は公共工事が増加する繁忙期となり、骨材の需要量が増えてきている。</p>
<p>窯業・土石 (山碎石)</p>	<p>舗装用資材の伸びに比べコンクリート用材料の販売量が落ち込んだことから、全体の収益はマイナスとなった。舗装工事は民間の駐車場舗装が中心なので、本来の主たる需要先であるコンクリート製品向け工事（特にリニア中央新幹線関連工事）の発注件数の増加や進捗率アップを望んでいる。</p>
<p>鉄鋼・金属 (金属製品製造業)</p>	<p>コロナの影響で仕事量が減少していたが、自動車部品関連については受注が回復傾向となっている。その他、生産用機械等に関連する組合員では未だに受注の減少傾向が続いているため、全体では前年同月の▲20%の売り上げとなった。</p>
<p>一般機器 (業務用機械器具製造業)</p>	<p>業界では、半導体関連・電子部品・自動車・生産用機械の売り上げは多少の回復傾向となっていたが、コロナウイルスの感染が広がってきているため、取引先の稼働・自社の稼働共に今後の生産への影響が懸念されている。</p>

<p>一般機器 (生産用機械器具製造業)</p>	<p>コロナウイルス感染拡大の影響により、生産設備への投資が減っていることにより受注が減少している。今後の見通しについても不透明な状況が続いていくと予測している。</p>
<p>電気機器 (電気機械部品加工業)</p>	<p>11月は半導体設備や車関係の部品を取り扱っている一部組合員企業の売り上げは回復傾向となったが、航空部品や医療関係機器に係る部品などの受注は減少しているため、前年同月と比較すると売り上げは▲30%となり未だに悪化した状況が続いている。</p>

● 非製造業

<p>卸売 (紙製品)</p>	<p>古紙の卸売業界では、製造業・小売業等の市場縮小から梱包材に使用される段ボール・古紙の発生が2～3割減少。そのため、原材料となる組合員の在庫はほぼゼロとなり在庫整理ができた。しかし、年末年始と操業短縮が行われ製紙工場への荷止めとなるため、再度在庫積みとなる。さらにコロナ第3波の拡大で製紙需要の見通しが立たない模様である。</p>
<p>卸売 (ジュエリー)</p>	<p>コロナウイルス感染拡大の影響で国内外の催事が中止となり売り上げは前年同月よりも▲30%減少した。11月は催事関係が徐々に再開してきたが、売り上げ・収益面は相変わらず厳しい状況にある。県内でもコロナウイルスの感染が広がってきているため、今後の見通しは不透明な状況である。</p>
<p>小売 (青果)</p>	<p>ぶどうシーズンはシャインマスカット等が高値で取り引きされた。11月は柿シーズンとなるが、天候等の影響により今年は不作となった。11月は全体の売り上げは、前年同月よりも▲10%程度減少となった。</p>
<p>小売 (食肉)</p>	<p>GoToトラベルやGoToイートキャンペーンの影響で飲食店での外食や観光客が増加したため、売り上げは前年同月と同等まで回復した。今後はコロナウイルスの感染拡大状況により、忘年会や新年会が中止となる可能性があり、売り上げの減少が懸念される。</p>
<p>小売 (水産物)</p>	<p>前年同月よりも売り上げは減少。今後は、コロナウイルスの感染拡大第3波の状況により、忘年会や新年会が中止され売り上げが減少することが予想される。</p>
<p>小売 (電気機械器具小売業)</p>	<p>業界ではコロナ対策等におけるエアコン・空気清浄機などの需要が活発で、全体の売り上げは増加しているが、メーカー間や販売事業者間の格差が大きく発生している状況である。</p>
<p>商店街</p>	<p>コロナウイルス感染拡大以降、商店街の飲食店での売り上げは前年同月の▲60～70%まで減少していたが、GoToイートキャンペーンの影響もあり11月の売り上げは前年同月の▲50%程度まで回復した。組合では、コロナウイルス感染拡大を防ぐため、60年以上続く歳末セールを止め、スタンプを集め応募し当選者には後日対象店舗で景品が受け取れるスタンプラリーを12月からスタートする。年末年始に向けて売り上げの回復を期待していたが、都留市の飲食店でのクラスター発生等、感染拡大が広がっているため今後の売り上げについては予測出来ない状況である。</p>

<p>宿 泊 業</p>	<p>GoToトラベルキャンペーンの影響により売り上げは回復傾向となったが、前年同月は秋の観光シーズンで繁忙期となっているため、比較すると売り上げは減少している。コロナウイルスの感染が広がってきているため12月以降は厳しい状況が見込まれる。</p>
<p>美 容 業</p>	<p>県内でコロナウイルスの感染者が増加傾向となっているため、組合では情報誌やホームページから組合員に店舗での手洗い・消毒・マスク着用等の感染予防対策を行うよう周知を行っている。</p>
<p>警 備 業</p>	<p>11月は土木建築工事、イベント警備業務は年間を通じて最も売り上げが見込めるシーズンである。今年度はコロナウイルスの影響により工事・イベント関係が中止や延期となっているため売り上げは減少した。雇用関係では、コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた他業種の離職者が数名ではあるが雇用された。しかし、業界として人材は不足している。</p>
<p>建設業 (総合)</p>	<p>11月の県内公共工事動向によると、前年同月に比べ、件数▲13%、請負金額では▲23%とそれぞれ減少した。11月末累計では、件数は7%増加しているものの、請負金額では▲0.4%の減少に転じ、横這いの状況が続いている。</p>
<p>建設業 (型 枠)</p>	<p>11月の売り上げは年末に向けて回復傾向となった。しかし、来年度は公共工事・民間工事の売り上げが減少することが懸念され、不安を抱えている企業が多い。</p>
<p>建設業 (鉄 構)</p>	<p>令和3年4月から施行される、溶接ヒューム・マンガンの特化則改正があるため、鉄構溶接協会としては講習会の開催を予定している。</p>
<p>設備工事 (電気工事)</p>	<p>組合員の脱退や高齢化、事業の縮小等の課題を抱えている。今後は、組合員の課題解決のための新たな組合事業が求められている。</p>
<p>設備工事 (管設備)</p>	<p>公共工事は前年同月でプラスとなったが、民間工事についてはコロナウイルスの影響により前年同月よりもマイナスとなり、全体としての売り上げは減少した。第3波の影響がどの程度になるのか懸念されている。</p>
<p>運 輸 (タクシー)</p>	<p>前年同月よりも売り上げは減少した。今後は、コロナウイルス第3波の感染拡大による影響により、本来繁忙期である年末年始の忘年会・新年会が中止となれば売り上げはさらに減少する見込みとなる。</p>

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2019/11	2020/10	2020/11	2019/11	2020/10	2020/11	2019/11	2020/10	2020/11
売 上 高	-10	-45	-50	-7	-27	-33	-8	-34	-40
収 益 状 況	-20	-55	-60	7	-20	-27	-4	-34	-40
景 況 感	-30	-60	-55	-13	-37	-30	-20	-46	-40

※（（良数値÷対象数）×100）－（（悪数値÷対象数）×100）＝D.I値

